

避難のポイント

- 避難する前に確認
火元の点検、電気のブレーカーを切ること。
- 動きやすい服装、複数人で避難を
避難するときは、スニーカー等動きやすい格好で、また、2人以上での行動を心がけよう。
- 車での移動は控えよう
浸水場所では、車が水に浸かって動かなくなったりして、緊急自動車の障害となります。

非常持出品の準備

家族構成に合わせた必要最低限の物資をリュックサックなどの非常持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

☐ 飲料水

☐ 食料(アルファ化米・缶詰等)

☐ 懐中電灯・電池

☐ 携帯ラジオ・携帯用充電器

☐ 軍手

☐ 生理用品

☐ マスク

☐ 洗面用具

☐ 筆記用具

☐ 衣類(下着)

☐ タオル

☐ 雨具(かっぱ、傘)

☐ 貴重品(現金・通帳・印鑑)

☐ 救急セット

☐ トイレットペーパー

■光市から発信する防災情報

防災行政無線

防災情報等を一斉にお知らせするための放送設備で、無線装置を使って市内各地に設置された屋外拡声子局等からサイレンや音声を放送します。避難情報発令時には、サイレンを併用して放送します。
※「サイレン吹鳴(15秒)+避難情報放送」2回繰返し
※サイレン音は光市ホームページで試聴することができます。

防災行政無線のアナウンスが聞き取りにくい場合には

防災広報ダイヤル

防災行政無線の放送内容を音声で確認することができます。
(0833)72-1410
※防災広報の専用電話です。その他の広報や情報提供には使用していません。

防災情報電話通知サービス

防災行政無線で放送した避難情報や避難所の開設情報などを固定電話やFAXで受け取ることができます。
※スマホや携帯電話を持たないか、メール操作が困難な世帯を対象としたサービスです。FAX、メール、郵送又は防災危機管理課、福祉総務課、支所、出張所の窓口で申し込みができます。

メール配信サービス

災害時の避難所開設情報や避難指示等の避難情報、気象警報、防災行政無線の放送内容などをメールで受け取ることができます。
'hikari@xpressmail.jp'に空メールを送り、説明に従って、登録してください。

光市LINE公式アカウント

令和4年10月からスマホアプリ「LINE」を活用し、避難所の開設情報や避難情報などメール配信サービスと同様の内容を配信しています。
※公式アカウントを「友だち登録」して、受信設定から「防災情報」を登録してください。

報道機関から取得

テレビ:リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。
ラジオ:【周波数】NHK第1放送 675kHz、NHK FM放送 84.0Mhz、85.3Mhz
山口放送 765kHz、FM山口 77.9Mhz、79.2Mhz
しゅうなんFM 78.4Mhz

電話で確認

光市役所 (0833)72-1400
光警察署 (0833)72-0110
光地区消防組合消防本部 (0833)74-5600

■インターネットからの取得

◆光市役所のホームページ
『光市役所』で検索

<https://www.city.hikari.lg.jp/>

◆気象庁の情報
『下関地方気象台』で検索

<https://www.data.jma.go.jp/shimonoseki/>

◆山口県のホームページ
『山口県土防災情報システム』で検索
<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>

『防災やまぐち』で検索
http://www.bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/pub_web/portal-top/

光市ため池ハザードマップ

【ため池】

令和6年3月発行

【ハザードマップに関するお問い合わせ先】
光市経済部農林水産課／電話 0833-72-1509

平成28年熊本地震や平成30年7月豪雨など、近年の災害において、ため池が決壊し、下流の地域で被害が発生しています。
このハザードマップは、大雨や地震等の災害によりため池が決壊する恐れのある場合又は決壊した場合に迅速かつ安全に避難するために役立てるための情報を記載しています。

●ため池決壊について知ろう

◆ため池決壊の原因(大雨と地震)

大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が浸食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化して、ため池が決壊することもあります。

◆ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

「地震のあと」に想定される災害

「大雨のとき」に想定される災害

家族の防災メモ

避難場所			
集合場所			
氏名	続柄	緊急連絡先	
		☎	
		☎	

ため池ハザードマップの使い方

①避難場所と避難経路の確認
ハザードマップ上で、自宅などの位置を確認しましょう。
水は高いところから低いところに流れ、道路は洪水の通り道になるおそれがあります。日頃から、どう避難するか地形を見て確認しておきましょう。

②非常時持出品の準備
家族構成に合わせた必要最小限の物資をリュックなどの非常時持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

③正確な情報収集と自主避難を心がけましょう。
ラジオやテレビで正確な情報を収集しましょう。危険を感じたら、市・警察・消防等に連絡するとともに自主的に避難しましょう。

④避難の呼びかけに注意しましょう。
危険が迫ったときには、市から避難の呼びかけをすることがあります。テレビ・ラジオ・サイレン音などの情報に十分注意し、呼びかけがあった場合は速やかに避難してください。